

経過	手術当日	手術後1日目	手術後2日目～ICU退室
月日	月日	月日	月日～月日
到達目標	精神的に落ち着き、安静を保持することができる	酸素飽和度が安定し、排痰することができる ベッド上で背もたれを使用し、座ることができる	ベッドから足をおろして座ることができる 自分で立つことができる
治療処置薬剤	<ul style="list-style-type: none"> <li>首と両手に点滴が入ります。必要に応じて、血液製剤や輸血を行います</li> <li>点滴から、血圧を上げる薬、心臓の動きを助ける薬、抗生剤、胃薬、痰を出しやすくする薬などを使います</li> <li>胸の中に血液がたまらないように管が2-3本入り、機械で持続的に吸引します</li> <li>心電図などたくさんコードが体に付きます</li> <li>心臓の動きを補助するためにペースメーカーが付きます</li> <li>口からチューブが入り、呼吸器で呼吸を助けます。そのため、声が出ません</li> <li>自分で痰を出せないため、管を使って痰の吸引をします</li> <li>吐き気を予防するために鼻から胃までチューブが入ります</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>呼吸が安定したら、口のチューブを抜いて、酸素の吸入をします</li> <li>痰を出すために、吸入をしたり、深呼吸や上肢拳上運動を行います</li> <li>鼻のチューブを抜きます</li> <li>お水が飲めるようになれば内服が始まります</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食事が入るようになれば首に入っている点滴を抜きます 手の点滴はしばらく続きます。</li> <li>胸の管からの排液量が減少してきたら、管を抜きます</li> <li>ワーファリンの内服がはじまります</li> </ul>
手術	□無・□有(術式: )		
全身管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>心電図モニターを常時装着し、不整脈などの確認をします</li> <li>頻回に血圧を測ったり、体の観察をします</li> <li>尿量を定期的に測定します</li> <li>体温に合わせて、電気毛布を使用し体を温めます</li> <li>痛みがあれば、痛みどめを使います</li> <li>リフト式の体重計で体を浮かせて体重を測ります</li> <li>深部静脈血栓予防のために弾性ストッキングを履きます</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>左に同じです</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>左に同じです</li> <li>立って体重計で体重を毎日測ります</li> </ul>
検査	<ul style="list-style-type: none"> <li>血液や心電図の検査をします</li> <li>時間毎に血糖値を測ります</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>左に同じです</li> <li>レントゲン検査をします</li> <li>食事開始後は食前・眠前に血糖値を測ります</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>左に同じです</li> </ul>
活動・安静	<ul style="list-style-type: none"> <li>お薬を使って眠ってもらい、臥床安静となります</li> <li>血圧等が安定したら、徐々にベッドの背もたれを起こします</li> <li>床ずれ予防と痰がでやすくなるように、看護師が時間毎に体の向きを変えます</li> <li>足の屈伸運動や上肢の拳上運動を行います</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>血圧などが安定していれば、ベッドの背もたれを少しずつ起こし、しっかり座ります</li> <li>呼吸器が外れたらベッドから足を下して座る練習をします</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベッド上では自由に動けます</li> <li>ベッドから足をおろして座る練習をします</li> <li>ベッドサイドで立つ練習や足踏みをします</li> <li>立位が安定していればICU内を歩く練習をします</li> </ul>
食事栄養指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>食べたり飲んだりはできません</li> <li>点滴で水分や栄養を補給します</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>口のチューブが抜けてしばらくしたらお水が飲めます(飲水量には制限がある場合があります)</li> <li>夕方から食事が始まります(三分粥から1日あがり)(ワーファリン内服のため、納豆は食べられなくなります)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>左に同じです</li> </ul>
清潔	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護師が洗面介助をします</li> <li>看護師が口腔ケアを行います</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護師が体を拭きます</li> <li>食事の前に手浴をします</li> <li>歯磨きをします</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>左に同じです</li> </ul>
排泄	<ul style="list-style-type: none"> <li>尿道カテーテルが挿入されており、自然に尿がでます</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>左に同じです</li> <li>排便はゴム便器使用となります</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主治医の許可が得たら尿道カテーテルを抜きます</li> <li>座位が安定していれば、ポータブルトイレを使用します</li> </ul>
患者・家族への説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>主治医が手術後に病状説明を行います</li> <li>面会ができます</li> <li>大事なチューブがたくさんあるので抜いてしまわないように注意しましょう</li> <li>治療・福祉などのご相談がある場合は、看護師か相談員にお尋ねください</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手術後は痰がたまりやすいので、しっかりと痰をだすようにしましょう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>状態に合わせて動く範囲をどんどん広げていきましょう</li> </ul>

※ 症状により、予定と異なる場合があります。分からないことがあればお気軽に主治医や看護師にお尋ね下さい。

※ なお、この計画書を病院側から受け取られた後は、患者さんの責任の下、保管していただきますようお願い申し上げます。

( 病棟 号室) 主治医 印 担当看護師署名 担当者署名